

前年度の重点目標	オンライン学習システムの構築 職員間の役割分担や協力体制の確立と効率的・効果的な業務改善		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン学習におけるシステムの構築をさらに向上させる。</li> <li>個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>小垣江東小との学校間交流や、居住地校交流を計画的・組織的に推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態に応じて、オンライン学習を設定し、方法を工夫しながら授業実践を継続していく。</li> <li>個別の教育支援計画を積極的に活用し、関係機関との連携に努める。また、個別の指導計画に基づき、主体的な活動を促す学習計画を推進する。</li> <li>学校間交流は、放課等を活用した日常的な交流を推進し、共同学習へとつながるように直接的な関わりを重視する。また、居住地校交流をさらに進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた指導(深める)、学びの拡張(ひろげる)の二つの枠組みを設定し、本校の特色を生かした実践をした。各研究グループが仮説から検証まで見通しをもち実践を通じた改善のプロセスを学ぶことができた。</li> <li>個別の指導計画を基に、学習集団ごとの授業実践・評価・改善を行うことができた。個別の教育支援計画の活用状況は、児童生徒によりさまざまだった。</li> <li>コロナ禍で、小垣江東小との交流は自由な交流はできなかったが、学習グループごとと一緒に行う活動は増えた。居住地校交流は、対面での実施は少なかったが、オンラインで継続できた。</li> </ul>
信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、医療・福祉関係者、施設・事業所等関係者、地域住民等による学校評価を実施し、学校運営の改善に努める。</li> <li>地域における特別支援教育のセンター的機能の整備・充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを有効活用し、内容の充実と更新に努める。学校だよりを地域へ配付する。</li> <li>学校評価の方法を検討し、評価結果を学校運営の改善に生かしていく。</li> <li>巡回相談、要請訪問など、地域の小中学校等へ積極的な支援を行うとともに、相談システムを確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりを年3回、地域に配付した。ホームページの更新を多くの教員が担うことにより、更新頻度が高まった。</li> <li>回答がしづらいと、昨年度の反省で上がってきた学校評価項目について、具体例を示すように改善した。</li> <li>要請訪問相談(かりとく相談)は訪問した学校、件数ともに昨年度よりも増え、校区の小中学校への認知度の高まりが実感できた。</li> </ul>
一人一人の安全・安心な教育環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケアの安全な実施体制の整備に努める。</li> <li>震災に対する関心を高めるとともに、健康・安全教育の推進に努める。</li> <li>外部専門家との連携・強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師による医療的ケアを実施し、看護師と教員の連携システムを構築する。教員の研修として、第三号研修を継続実施する。</li> <li>大震災に備え、避難訓練を実施し、課題を見出す。</li> <li>外部専門家による研修を実施するとともに、外部専門家の指導を生かした授業改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経管栄養の滴下調整を伴った見守りの実施や、承認された行為の実施を中心に看護師と協働し、安全に医療的ケアを実施できた。</li> <li>小垣江東小学校との合同火災避難訓練では、2階屋上庭園からの避難を想定して行い、挙がってきた課題から対策を練ることができた。</li> <li>刈谷総合病院セラピストとのケーススタディ等の機会に外部専門家から指導・支援方法の助言を受け、授業改善に役立てることができた。</li> </ul>
総合評価	<p>一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援は、個別の指導計画を活用した授業改善や、ICT環境を生かした授業研究等に取り組む中で、成果を実感できた教職員が多い。保護者にも一定の評価をいただいたことが学校評価アンケートから分かった。</p> <p>信頼される学校作りは、昨年度の学校関係者評価でいただいた外部からの意見を取り入れて、保護者や教職員が回答する学校評価アンケートを改善したところ、本校が担うセンター的機能への保護者理解が不十分なことが明らかになった。今後、積極的に情報提供したい。</p> <p>安全・安心な教育環境の整備は、医療的ケアを看護師と教員が協働し、教員の第三号研修も継続実施をして、教員の資質向上を目指した。災害時の福祉避難所開設までの流れや本校の施設・備蓄品について、刈谷市福祉総務課と確認することができた。</p>		